

祝辞

一般社団法人 全国中小建設業協会 会長 土志田 領司



2010年9月にご入会され、明けた3月東日本大震災に見舞われ、激動の船出であったろうと思っておこされます。当時、私は横浜建設業協会の副会長として、11年4月1日から2日に横浜を夜中に出発し、トラック8台に神奈川県内から集められた救援物資を載せて気仙沼市へ向かい、気仙沼消防本部避難所に早朝に到着したことを昨日のように憶えています。設立10周年を迎え、これからも全中建設の仲間として大いに力を発揮されますことを願っております。10年間、戦い続けた宮城会長をはじめとした会員の皆さまのたゆみない団結力が、結果として現在のみや中建設の歴史となっております。深く敬意を表するものであります。さて、劇的な構造改革が未経験の速さと規模で進行しております。私達、地場の中小建設業も対応しなければならぬということの理解は地方企業まで浸透しておりますが、品確法に明文化されている適正な利潤が確保できるようにという法の趣旨が発注者側に今でも浸透されていません。ここを理解いただけませんと、長時間労働の是正も週休2日制も担い手確保も叶いません。これら働き方改革につきましては、全中建設として引き続き公共事業発注者をお願いしてまいります。また、畑中前会長にご指導いただいた指定公共機関につきましては、4月1日付で国から指定されました。最後になりますが、コロナ禍でもわれわれの本分を忘れず、力を合わせて難局を乗り越えたいと考えておりますので、みや中建設のさらなるご発展と、傘下の会員の今後ますますのご活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。

みやぎ中小建設業協会 設立10周年記念特集

宮城洋幸会長、畑中孝治副会長(初代)対談

(一社)みやぎ中小建設業協会が設立10周年を迎えた。設立8カ月後には東日本大震災が発生し、会員企業はそれぞれの地域で応急復旧に尽力したほか近年、多発する甚大な豪雨災害の現場にもいち早く駆けつけ、地域の安心・安全を支え続けてきた。復興需要の終息に伴う受注競争の激化や慢性化する担い手不足など、業界を取り巻く環境が厳しさを増す中、次世代の建設人に求められるものは何かと、みや中建設の宮城洋幸会長(宮城建設工業代表取締役会長)と初代会長の畑中孝治氏(巧成建設代表取締役社長)に伺った。聞き手は小島義弘本紙取締役副社長兼編集総局長。



みやぎ中小建設業協会が設立10周年を迎えました。協会設立の経緯をお聞かせ下さい。

宮城 当時は価格のみの力から、価格に加えて技術力などを評価する総合評価方式へと入札制度が変わっていった時期でした。経営基盤の弱い中小建設業者は受注の確保が難しくなり、改善を要望しようにも一企業では国や県などに開いていただけないのが現状でした。地元中小企業の声を届けるには協会設立が必要で、有志8社のうち設立発起人7

社で登記し、2010(平成22)年7月に協会を立ち上げました。現在は会員97社の組織と定めています。畑中 建設投資も先細って行く時代であり、2010(平成22)年にはピーク時の半分程度の42兆円にまで激減しました。特に東北においては受注環境が厳しく、地元建設業者がそれぞれの地域で事業を継続していくため、地域を越えてまとまる必要があるというところを目的の一つにしました。

畑中 大震災の当時の会員数は33社でしたが、栗原市や加美町、丸森町など、各自治体からの支援要請があったため、協会各社がそれぞれの地域でがれきの処理から始まり、河川や

さらなる協会の発展を

7月に協会を設立後、9月には全国中小建設業協会に入会し、宮城支部として活動を開始しました。翌年3月には東日本大震災が発生しました。道路の改修など、14項目にわたる復旧活動に尽力しました。協会は設立直後から、協会の活動に尽力して活動を開始しました。協定は結んでおらず、協会の支援体制も整っていない状況です。宮城 会員それぞれが県や仙台市に当り、建設関係では建物の応急修理を中心として1000件ほど対応したほか、宮城県警察の依頼で行方不明者の捜索などを行ってまいりました。当時は地元の建設会社だけでは手が回らない状況で、仙台市内の建設業者であっても県内各地の被災現場に行くことが当り前にありました。

近年は地震だけでなく、局地的な豪雨に伴う河川の氾濫といった自然災害も多発しています。

沿革

- 2010(平成22年) 7月8日 設立発起人7社にて登記。初代会長として畑中孝治氏就任。9月17日 一般社団法人全国中小建設業協会へ加盟。宮城支部として活動開始。2011(平成23年) 3月11日 東日本大震災発生。翌日より会員各社は宮城県や仙石市および各市町村ならび警察等の要請により被災各地に赴き多数の建物の応急修理や道路改修ならびに人命救助等に当たる。4月1日 仙台市と防災協定(災害時における被災住宅の応急修理等に関する協定書)を締結。2011(平成23)年度より、スマイルリバーや献血等の社会貢献活動実施。2012(平成24年) 2月14日 東日本大震災の復旧・復興に多大なる貢献をしたこと、仙台市長より感謝状を授与。8月28日 東日本大震災の復旧・復興に多大なる貢献をしたこと、仙台市長より感謝状を授与。10月23日 宮城県と防災協定(災害時における被災住宅の応急修理等に関する協定書)を締結。2013(平成25年) 10月18日 第1回「全中建設ブロック別意見交換会」を開催。国交省、東北地方整備局他総勢20名出席。以後、2年に1回開催。2014(平成26年) 6月3日 2代目代表理事(会長)として宮城洋幸氏就任。2017(平成29年) 12月11日 郡和子仙台市長訪問。地元中小建設業界の現状と今後の支援要請を協議。6名で訪問。2018(平成30年) 7月9日 村井宮城県知事訪問。地元中小建設業界の現状と今後の支援要請等の意見交換を実施。会長他理事12名で訪問。2019(令和元年) 9月25日 スマイルリバー活動功績者として、宮城県より感謝状を授与。会員各社が10月の台風19号被災地各地に赴き、災害復旧・復興に奔走。12月11日 青年部会(台風19号被災地の丸森町)の活動報告会を開催。クリスマスイベント活動を行った。2020(令和2年) 2月3日 長年の献血活動の功績者として、仙台市より感謝状を授与。4月24日 新型コロナウイルスに伴い宮城県と仙台市へマスク各10000枚づつ寄贈。会員全社にも配布。現在の会員数 97社

一般社団法人 みやぎ中小建設業協会 設立10周年を心よりお祝い申し上げます (五十音順)

Table listing member companies with columns for company name, representative, and contact information. Includes companies like 正建株式会社, 株式会社 清和建設, 誠新ランドテック株式会社, etc.

祝辞 城県知事 村井 嘉浩



一般社団法人みやぎ中小建設業協会が、このたび設立10周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴協会は、中小建設業の経営および建設技術の改善向上に努めるとともに、社会貢献活動にも積極的に取り組んでおられ、建設業の健全な発展・向上に貢献してこられたことに敬意を表するものであります。

また、2012年に本県と締結した「災害時における被災住宅の応急修理等に関する協定」に続いて、2017年に大河原土木事務所と地域密着型の防災協定「土砂災害危険箇所の点検に関する協定」を締結し、近年、多発する大雨などに対し、地域住民の安全・安心な暮らしを支える活動にご尽力いただいております。令和元年東日本台風による災害においても迅速にご対応いただき、改めて感謝申し上げます。

本年度は、「宮城県震災復興計画」の最終年度であります。県といたしましては、復興の総仕上げと復興期間後を見据え、建設技術向上の推進、働き方改革による魅力ある建設現場の実現、担い手確保などの課題に取り組みながら、建設業の発展に向けた支援を行ってまいりますので、貴協会におかれましても、ふるさと宮城の持続的な発展に引き続きご尽力賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今後の貴協会のますますのご発展と会員の皆さまのご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

祝辞 仙台市長 郡 和子



このたび、みやぎ中小建設業協会が設立10周年を迎えられますことを、心からお祝い申し上げます。

貴協会におかれましては、設立以来、中小建設業の技術的、経済的および社会的地位の向上や地域貢献活動などで大きな役割を果たされておることに対し、改めて深く敬意を表します。また、東日本大震災の被災後間もない時期に「被災住宅の応急修理等に関する協定」を締結していただき本市の復旧・復興に多大なるご尽力を賜りましたこと、その後も防災訓練の継続的な実施など、日ごろより本市の防災体制の強化にお力添えをいただいております。心から感謝申し上げます。

さて、本市では、新総合計画の策定やせんだい都市再構築プロジェクトなどの未来に向けた多様な取り組み、災害の経験や知見の継承、都市型水害への対応強化など災害に強まらざる等々の重点的な施策に加え、将来の建設業の姿を見据えて、働き方改革関連施策、公共事業の計画的な発注などに注力してまいります。貴協会におかれましては、まちづくりの一層の推進や災害対応力のさらなる強化をけん引して下さいますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の今後ますますのご発展ならびに会員の皆さま方のご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



畑中孝治副会長(初代会長)

「このほか、発注機関と取り組んでいることは、畑中 県や仙台市との意見交換は定期的に行っており、その効果もあって宮城会長は、建設業の今後の振興策を示す「新・みやぎ建設産業振興プラン」策定に関わる推進協議会の委員を務めております。また、協議会の部会にはみや中建の若手3人が加わるなど、少しずつ

入札制度など、行政に對する要望は、畑中 総合評価制度において、指定地方公共機関の評価項目は、1団体で評価されており不平等が感じられるため、県には公平・公正な立場から評価制度の見直しを要望してまいります。昨年開催した全中建と東北地方整備局との全国ブロック別意見交換会では、今のよう

「一方で、東京都と全中建からみや中建に対し、相互の防災協定を結んでほしい」という要請もきています。これは、例えば東京で大規模な災害が発生した際は、ここ宮城県から会員各社の持つ重機や車両を持って応援に駆け付けるといふ、互いの有事に助け合う「応援協定」で、すでに意見交換を行うなど前向きな検討作業に入っています。

畑中 東京に限らず大阪や広島などの遠距離都市と防災協定を結ぶことで、有事にすぐには動けなくても時間差で必要な物資を見極めて届けることや、足りない人材の派遣も可能になります。今後、こうした防災協定は増えていくのではないのでしょうか。

「協会では社会貢献活動にも力を注いでいますね」とも力を注いでいますね。畑中 昨年は若手確保に向けて県と建設業界との意見交換会を行ったほか、全中建も協会の広報誌で女性職者にスポットを当てた特集を組みなど力を入れていきます。進んで若い人が建設産業に入りたいと思つように、われわれ協会も活動を底上げしていきたいと思つています。

「協会では社会貢献活動にも力を注いでいますね」とも力を注いでいますね。畑中 昨年は若手確保に向けて県と建設業界との意見交換会を行ったほか、全中建も協会の広報誌で女性職者にスポットを当てた特集を組みなど力を入れていきます。進んで若い人が建設産業に入りたいと思つように、われわれ協会も活動を底上げしていきたいと思つています。

「協会では社会貢献活動にも力を注いでいますね」とも力を注いでいますね。畑中 昨年は若手確保に向けて県と建設業界との意見交換会を行ったほか、全中建も協会の広報誌で女性職者にスポットを当てた特集を組みなど力を入れていきます。進んで若い人が建設産業に入りたいと思つように、われわれ協会も活動を底上げしていきたいと思つています。

切磋琢磨

員企業も大変満足したようでした。生産性の向上や働き方改革など、変革が求められています。宮城 10(平成22)年9月に全中建に加入したことで、速やかに国からの情報入手できるような環境が求められるようになってきた。変化が求められている。変化が求められている。変化が求められている。

「国ネットワーを活用して共有したさまざまな情報を会員企業に発信し、良いところを積極的に取り入れていきたい」と考えています。また、われわれ地域の建設業は特に市町村には、雇用面も含めインフラ整備の担い手として継続していただくために、若手が夢と希望を持つ一助となるような団体にしていただきたいと考えています。

復興需要の終息に伴う公共投資の減少など、すでに反動は出ており厳しい経営環境にあると感じています。が、こうした時期だからこそ、やる気のある企業に入社していただき互いに切磋琢磨し、さまざまな意見を出していきたいと思つています。宮城 東日本大震災や豪雨災害の経験から、定期的に

協会概要 (一社)みやぎ中小建設業協会概要
【目的】当協会は、中小建設業者をもって組織し、中小建設業を技術的、経済的および社会的に向上させ、公共の福祉を増進させることを目的とする
【事業】1. 中小建設業に関する経営および建設技術の改善向上のための調査研究
2. 建設業に関する各種情報、資料の収集ならびにその提供
3. 中小建設業に関する法制および施策の調査研究
4. 建設工事の安全施工を図るための研究指導
5. 中小建設業者の社会的地位の向上を図るための建議陳情
6. その他当法人の目的を達成するために必要な一切の事業防災協定
【防災協定】1. 2011年4月1日 仙台市「災害時における被災住宅の応急修理等に関する協定書」
2. 2012年10月23日 宮城県「災害時における被災住宅の応急修理等に関する協定書」
3. 2017年12月27日 宮城県大河原土木事務所「土砂災害危険箇所の点検に関する協定書」
【全国団体加入】2010年9月17日 一般社団法人全国中小建設業協会に加入。宮城県支部として活動開始
事務局/〒981-3117 仙台市泉区市名坂字南前5-3 TEL.022-375-0889 FAX.022-375-0881

一般社団法人 みやぎ中小建設業協会設立10周年を心よりお祝い申し上げます (五十音順)

Table listing member companies with columns for company name, representative, and contact information. Includes companies like 株式会社 アネステイ, 株式会社 エム建設, 株式会社 小野寺建設, etc.